

物語の組み立てについて考えよう 「世界でいちばんやかましく音」

【つきたい力】

・人物像や物語など全体像を具体的に想像する力をつけます。

【そのため】

・物語が最初と最後までどのように変わったのか、そのきっかけや山場から読み取ります。

【言語活動（げんごかどう）】

・このお話を「もしも・・・ならば」作文を書こう。

①	/	○お話と出会う ・読む ・どんな物語 ・出会いの感想文 ・私の問いを立てる
②	/	○つきたい力の確認 ・単元計画 ・全体像から読み取る
③	/	○私の問いを解決しよう ・深い ・浅い ・無理
④ ⑤	/	○まとめの感想文 ・Wordでまとめる（提出は手書きか Word） ・もしも「 この物語に続きがあるならば 次の一年後の王子様の誕生日に「何を のぞんだのか」物語の世界観を大切に 考える

感想文を書く

【主体的に学習している様子】

・物語の全体像をとらえるために、積極的に読み、自分の意見を伝えようと
している

【出会いの感想文】

- ① 「」は作者である氏によって書かれた
物語です。
- ② わたしが立てた問い（私の問い）
- ③ このお話の主題は（テーマは）作者が伝えたいことは・・・
- ★④ この教材を勝手に分析すると・・・

例 実際に以前の4年生が書いた文です

この「お手紙」は作者であるアーノルド・ノーベル氏によって書かれた「おもしろい物語」です。

私の問いは「お手紙をもらえない気持ちになってどねへらいらしいのかな」です。

このお話の主題は「友だちの大切さ」です。そこまでなんとなくわかるけど、もう少し考えます。

この教材を勝手に分析しましたがわかりませんでした。

「お手紙」は作者であるアーノルド・ノーベル氏によって書かれた「友だちのことをやさしさだけでなく、相手の立場なって考えた物語」です。

私の問いは「最後にお手紙を待っている間、ふたりはどんな気持ちかなのかな」です。

このお話の主題は「相手を思いやるためにできる行動はなにかな」と思っています。相手を思うことはやさしくするだけでなく、その人の一番つらいところを考えることかなと思いました。

この教材を勝手に分析すると、くりかえしの表現が多いです。また、かたつむりくんが手紙を渡すことで何日も手紙を待つことができるので、登場人物にくらぶがあると思いました。